

* * *

次号の特集予告

288 巻 6 号 (2024 年 2 月 10 日発行)

消化器外科領域におけるロボット手術の最前線

企画：藤田文彦 (久留米大学医学部外科学講座)

- ・日本では手術支援ロボットが、2012 年に前立腺全摘が保険収載されると泌尿器科を中心に普及し、2018 年以降、食道、胃、直腸の消化器外科領域でも広がり、現在では肝臓や膵臓、結腸でも保険適用となっている。
- ・ロボット手術の急速な普及を受け、2023 年度から日本内視鏡外科学会技術認定制度において、食道、胃、大腸のロボット手術が審査対象となったことから、安全性を担保した術者教育は極めて重要な課題である。
- ・今回は、消化器外科領域のロボット手術の支援技術に焦点を絞って特集を企画した。各領域のエキスパートの先生方に解説をお願いしており、本特集号がロボット手術に携わる皆様の一助になれば幸いである。